

震災から 10 年。

当時、私たち家族は全員無事でしたが、あと 1、2 秒遅かったらと思うとぞっとします。南側に海、北側には運河があり、1 週間も水が引きませんでした。

草一本もなく蟻一匹もない、あの悲惨な現状からは何をどうしようなんてとても考えられず、毎日毎日泥出し、がれきの片付けで皆疲れ果てていました。

そんな中、炊き出し、泥出し、がれきの片付けのボランティアが始まり、私も友人を誘って炊き出しの手伝いを始めました。多いときは 350 人もの食事を！当時は中屋敷に行けば、生野菜、牛乳等が食べられると口伝えになっていたようです。

ヤマギシさんの方たちだからこそ何百人もの炊き出しができたのです。（お邪魔してそう思いました。）自分たちはおかずなしでご飯とお汁だけの時が何度かありましたよね。お手伝いの中で地元の人たちや皆さんとのコミュニケーションがとれ、気を紛らわすことができ、ストレス解消になって身も心も元気になりました。炊き出しは体の栄養に、笑顔は心の栄養に。

今の“まじゃらいん”があるのも炊き出しがきっかけです。

人が集まりにぎやかだったのが、炊き出しが終わって元の事務所も解体し、集まる場所がなくなって、皆の笑い声もなくなり…。やはり皆が集まる場所が必要と思って始めました。

64～91 歳まで 20 名程がお茶っこ、おしゃべり、物作りと好きなことをして大声で笑って帰っていきます。週 1 回だった集まりもコロナウイルスの影響で 2 回に分けて活動しています。

皆様からのご支援や支えがありここまで頑張ることができました。すっかり変わった石巻、中屋敷にぜひ足を運んでください。また友人を連れてお邪魔したいと思います。

たくさんたくさんありがとうございました。

令和 3 年 3 月

阿部 和子

